



草笛学園 2025年 11月号

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節です。落ち葉を踏みしめたり、どんぐりを拾ったりと、この時期ならではの自然を存分に楽しめたらよいですね。

そして秋から冬へと変わりゆくこの頃。衣服をこまめに調整しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱいに過ごしましょう。

◎自分で決めるチャンスを奪わない

大人のいいなりになってしまふような年齢の低いあいだから、子どもには自分で決めることのできるチャンスを多く作ってやりましょう。大人の望んでいる通りに子どもが決めるとは限りません。しかし、子どもは失敗から学んでいきます。自分で選ぶチャンスは、失敗から学ぶ機会を作ることになります。小さいときの失敗は、いくらでもやり直しができます。大人が好ましいと思わないおもちゃを子どもが選んだとしても、一度遊んでみて「つまらなかった」ことがわかれればそれでいいのです。いつも、最後は自分に決めさせてくれると感じる大人への信頼感が、大きくなつてから活きてきます。

◎子どもが決めたことを尊重する

子どもがせっかく自分で選んでも、その結果が尊重されないのでは、チャンスをもらっても水の泡になってしまいます。それがどんな結論であっても、子どもの選択を尊重しなくては信頼関係は作れません。さらに、自分で決めて、させてもらえないことが続くと、自分で選ぶこともしなくなります。おもちゃのかたづけをしなさいと言って、「テレビ見てからする」と言ってなかなかかたづけない。よくあることです。その時に「あんたは言うだけで、いつもかたづけるのはお母さんや」と怒って仕方ありません。結果的にお母さんがかたづけてしまうと、子どもは「お母さんもうるさく言うだけや」と思ってしまいます。自分でかたづけ始めるまで待つ余裕が必要です。うるさく言わなくても、お母さんは待ってくれるということを実感したら子どもはその信頼に応えます。

◎大人の考えをことばでていねいに伝える

これも、子育ての中で「くせ」にしておきたいことです。「子どもは親の背中を見て育つ」では子どもは育たないと書きましたが、必要なのは、しっかり正面から抱きとめることと、

ことばで考えを伝えることです。わかっているのかと思うような小さい時期から、子どもががんばったことばでほめたり、いけないことをしたら「なぜいけないのか」をことばで説明することが必要です。そして、もっと必要なのは、からだで示すとともに、ことばでも、「あなたが、かけがえのない私の大切な人である」ことを伝えてほしいのです。話すことが苦手なお父さんも、大きくなってからではもっと照れくさくて言えません。小さいときから練習しておきましょう。いけないことをしたときは、うんと努力して言葉で伝えます。一発叩いて「わかったか」ということがないようにしたいものです。大人がことばを節約すると、子どもも同じように「うるさい！」の一言でかたづけてしまいます。

参考文献「ちょっと気になる子どもと子育て」池添 素 著

◎12月のさくらんぼ教室のお知らせ◎

さくらんぼ①：12月11日（木）13：00～

さくらんぼ②：12月25日（木）13：00～

活動・・・ねんがじょうづくり

持ち物・・・はさみ・油性ペン（黒）☆他の色もあれば持ってきてください
のり（スティックタイプでも指のりタイプでもどちらでもOKです。
子どもさんの使いやすい方で準備してください）

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします

参加される皆様へ』～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費はおやつ代 100 円です。製作やクッキングの活動の時には、材料費として追加で 100 円いただきます。その都度連絡いたします。
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意してください（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください